

# HUMAN RIGHTS Kanagawa

『自由同和』  
神奈川県版  
vol.166  
2019 SPRING

部落差別解消推進法成立から2年——  
神奈川県内における運用状況を探る



Photo チャレフェス音楽団  
NPO 法人 チャレンジド・フェスティバル

## チャリティーコンサート in 小田原

主催：神奈川県人権教育フォーラム(自由同和会神奈川県本部)

後援：小田原市教育委員会／小田原市障がい者福祉課

## 音楽が人と人の架け橋に —650名が来場

たとえ目が見えなくても、手足が思うように動かなくても、音楽がすべての人の“心の架け橋”になる——。そんな願いを込めた「チャリティーコンサート in 小田原」が小田原市民会館大ホールで開催されました。主催は神奈川県人権教育フォーラム(自由同和会神奈川県本部)。4月7日当日は晴れ渡る青空のもと、会場間近の小田原城の桜も満開に。数多くの関係者の皆様のご協力を得て約650名の来場者を迎え、会場内は熱気と歓声に包まれました。

当会と小田原で活動する「50'S BAND」が意気投合して本企画が始動し、女優・磯村みどりさんの呼びかけでNPO法人「チャレンジド・フェスティバル」を母体とする「チャレフェス音楽団」が参画。同会はエンターテイメントで健常者と障がい者をつなぐ活動に取り組んでおり、当日はチック症のキーボディストや視覚障害のギタリスト達が奏でる美しく力強い音色が響き渡りました。さらに、『上を向いて歩こう』を声と手話で観客と共に合唱する参加型の演目ではホールが一体となって沸き立ちました。



いじめ根絶チャリティーTシャツを販売。  
イメージキャラクター：所ゆきよし氏(漫画家)

その他、往年の名曲『青春時代』で人気を博す「トップギャラン」、小田原相洋高校卒業生が結成した和太鼓集団「しゃら」、女性3人の雅楽ユニット「雅楽三昧中村さんち」が出演。障害者支援団体の物販ブースも盛況を見せ、小さなお子さんも高齢者も、健康な方も車椅子の方も、互いに支え合っ

皆様のご賛同・ご協力を得て、障がい者の創造活動を支援するNPO法人「あいアイ」に10万円を寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



横浜地方法務局本局



神奈川県庁子どもみらい局



小田原市



横須賀市

## すべての人が平等に、心地良く暮らせる神奈川を目指して 法務局本局・県庁・33市町村と意見交換

県本部執行部及び各支部は、平成31年2月から3月にかけて関係各所を訪問し、面談・意見交換ならびに「部落差別解消推進法」の運用状況等についてのアンケート調査のご協力を依頼しました。職務が過密な年度末であるにも関わらず、ご担当の皆様には快くご対応いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

### 神奈川県庁 福祉子どもみらい局

【2月6日】 天野会長、小谷副会長、八木橋事務局長、岡田川崎支部長が神奈川県庁福祉子どもみらい局を訪問し、門脇人権男女共同参画担当部長、添田課長と挨拶を交わした後、森人権同和グループリーダーと約90分間にわたり県の同和施策の現状について意見交換を行いました。

本会からは対応3団体への助成金の早期撤廃と部落問題に関わる個別の条例を制定しないよう要望しました。

### 横浜地方法務局 本局 人権擁護課

【2月6日】 天野会長、小谷副会長、八木橋事務局長、岡田川崎支部長は、横浜地方法務局本局人権擁護課の前原課長、藤井企画係長と45分間の面談を行いました。天野会長は子どものいじめの対応について意見を交換し、八木橋事務局長は県内自治体における、人権擁護委員による人権相談等の環境について再精査を要望しました。

### 横浜市

【2月6日】 天野会長、小谷副会長、八木橋事務局長、岡田川崎支部長が横浜市民局人権課を訪問し、北川課長補佐と約60分にわたって面談を行いました。

県対応3団体に対して自治体独自で交付している助成金の撤廃と、部落問題に関する個別条例を制定しないよう要望しました。

### 真鶴町

【4月1日】 天野会長は真鶴町を訪問、宇賀町長と面談し、同和問題への対応と、部落問題に関する個別条例を制定しないよう要望しました。

### 小田原市

【3月28日】 天野会長は、小田原市萱沼教育長・内田教育部長と面談し、4月7日に小田原市民会館で開催する「チャリティーコンサート in 小田原」への協力ならびに障害者や子どもへのいじめ、部落差別に関する教育啓発の強化を要望しました。

### 横須賀市

【3月11日】 八木橋事務局長は横須賀市役所市民部人権・男女共同参画課山田課長、梶谷係長を訪問しました。同市内における部落問題の現状や施策および、県内初となるLGBT条例について約60分間にわたり意見を交換しました。

### 川崎市

【2月15日】 岡田川崎支部長と岩下理事は川崎市人権男女共同参画室須藤課長・中野係長と面談し、同和問題に対する市の現状及び今後の施策について意見を交換しました。



# 「部落差別解消推進法」運用状況 神奈川県内 33 市町村 一斉アンケート

県本部は「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成 28 年 12 月施行）の運用状況を把握し今後の活動に生かすべく、県下自治体 33 市町村を対象としたアンケート調査を行いました（回答率 100%）。調査期間は今年 2 月から 3 月末。

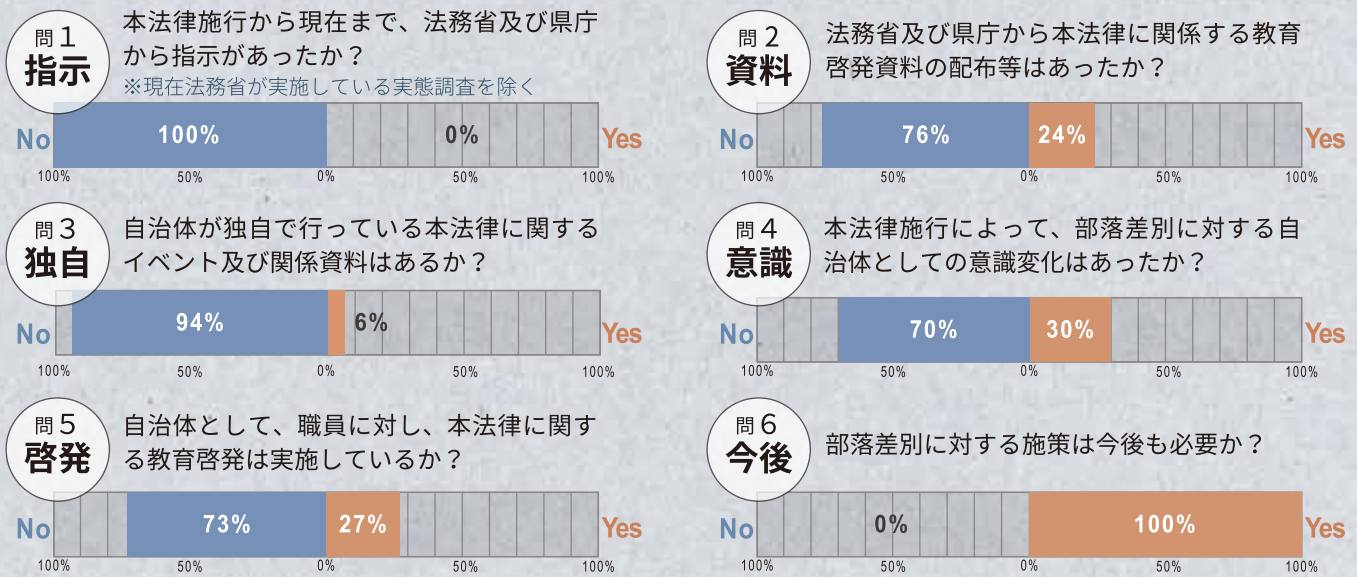
同法に関する県下自治体への調査は平成 29 年 7 月に行った電話調査に続き 2 回目。結果は 1 回目とほぼ変わらず、部落問題完全解消へ正しく向かっていると捉えるべきか否か判断が分かれるところです。

また、アンケート調査と左記の意見交換から、「部落差別解消推進法」による以下の変化が明確になりました。

1. 失効間近だった団体に対する補助金交付（相談事業費）が継続された
2. 同和問題施策について対応団体への“丸投げ感”が強まった
3. 法施行前に比べ、各自治体独自の同和教育啓発が後退の様子を見せている

これらの現象は部落問題個別の条例制定を迫られる要因となる可能性があります。条例化は部落問題を恒久化し、本来の目的である完全解消とかけ離れてしまう恐れがあるため、神奈川県本部としては条例を制定すべきではないと考えます。

## [アンケート結果] 平成 28 年 12 月施行「部落差別解消推進法」の現状について



◆対象：神奈川県内 19 市 13 町 1 村／有効回答：19 市 13 町 1 村／アンケートシート配布、回答期間：平成 31 年 2 月から 3 月末日

## 横浜地方法務局本局・県庁・33 市町村 訪問面談記録

**2月6日 天野会長・小谷副会長  
八木橋事務局長・岡田川崎支部長**  
神奈川県庁：人権男女共同参画担当門脇部長・添田課長・人権同和グループ森リーダー  
横浜地方法務局本局：人権擁護課前原課長・藤井企画係長  
横浜市：市民局課長補佐北川人権課担当係長  
**2月14日 古谷副会長・善波青年部長**  
南足柄市：福祉課柏木班長  
中井町：福祉課安池主幹  
真鶴町：福祉課山田副課長  
湯河原町：福祉課嶋岡担当  
大井町：町民課清水担当  
松田町：子育て健康課川本課長  
山北町：福祉課尾崎主幹  
開成町：福祉課渡辺課長  
箱根町：福祉課地域福祉係小山係長  
**2月15日 岡田川崎支部長・岩下理事**  
川崎市：人権・男女共同参画室須藤課長・中野係長

法務局川崎支局：佐藤総務課長・内藤担当  
**2月25日 山田県央支部長**  
厚木市：人権男女相談担当山崎課長  
綾瀬市：市民課広聴相談 鈴木・保坂担当  
座間市：人権・男女共同参画課森山係長  
秦野市：市民相談人権課渡邊課長代理  
伊勢原市：人権・男女共同参画推進課小菅係長  
大和市：国際・男女共同参画課 船越担当  
海老名市：福祉政策課山田係長  
愛川町：住民課小島主任主事  
清川村：保健福祉課岩澤副主幹  
**3月6日 小谷副会長**  
相模原市：人権・男女共同参画課松上参事兼課長・高野課長・石井担当  
**3月7日 八木橋事務局長**  
葉山町：町民健康課新倉課長・秋山担当  
**3月11日 八木橋事務局長**  
寒川町：町民窓口課芹澤課長・袴田主査

茅ヶ崎市：男女共同参画課多賀谷課長・久保田課長補佐  
藤沢市：人権・男女共同平和課西山課長  
三浦市：保健福祉部下田部長・石渡課長  
横須賀市：人権・男女共同参画課山田課長・梶谷係長  
**3月12日 八木橋事務局長**  
平塚市：人権・男女共同参画課小峰課長・岩田課長代理  
**3月13日 八木橋事務局長**  
大磯町：福祉課小林課長  
二宮町：地域政策課生井課長・須田班長  
**3月26日 八木橋事務局長**  
鎌倉市：文化人権課松井課長・市岡担当  
逗子市：市民協働課石井課長・坂本係長  
**3月28日 天野会長**  
小田原市：萱沼教育長・教育部内田部長  
**4月1日 天野会長**  
真鶴町：宇賀町長